

Web プログラミング レポート課題

25G1087 粒良梁雅

2025 年 12 月 28 日

1 github のリポジトリの URL

`https://github.com/tsubutsubu00/webpro_06.git`

2 開発者向けマニュアル

2.1 1 つ目: はま寿司メニュー一覧

2.1.1 概要

本 web アプリケーションは、現在のはま寿司で取り扱っているメニューを効率的に管理・閲覧するためのシステムである。このあと紹介する 2 つ目、3 つ目と異なり、データ量が多いため、情報をカテゴリごとに分類し、その後メニュー一覧に飛ぶようにしている点が特徴である。また、メニュー一覧にそれぞれ追加、編集、削除が行える機能を追加した。変更点として、本システムはパラメータの数値を直接参照するのではなく、各データが持つ固有の id を find メソッドを使って検索し、合致するオブジェクトを特定するロジックに変更した。このようなロジックに変更した理由として、はま寿司のシステムは、メニューの追加や削除が頻繁に行われる可能性が高いという観点から不適切であると判断したためである。具体的には、メニューを削除をした後に追加を行うと、それ以降のデータの順番がずれてしまうが、データに紐づいている ID は変化しないためである。

2.1.2 データ構造

はま寿司カテゴリ一覧のデータ構造を表 1 に、はま寿司メニュー一覧のデータ構造を表 2 に示す。本 web アプリケーションでは、すべてのメニューデータを `hama_all_menu` に格納している。この `hama_all_menu` は、カテゴリ名である `limited_menu` や `nigiri` などを持っているオブジェクトであり、値として各メニューの配列を保持する多階層構造となっている。このような設計になっ

ているため、サーバー側で `req.params.url` を変数として利用して、動的にデータを切り替えて取得することが可能である。また、項目内の `id` は、`number` 型で定義している。この `id` を活用して、詳細表示や編集、削除を行う際に特定のデータを識別するためのパスパラメータとして利用している。

表 1 はま寿司カテゴリー一覧のデータ構造

項目名	データ型	説明	出力例
id	number	各カテゴリーに割り当てた ID	0,1,2 など
url	string	パラメータ名	limited_menu.nigiri など
tag	string	カテゴリーの名称	期間限定、にぎりなど

表 2 はま寿司メニュー一覧のデータ構造

項目名	データ型	説明	出力例
id	number	各メニューに割り当てた ID	0,1,2 など
name	string	メニューの名称	厳選まぐろ中とろなど
price	string	メニューの価格	110 円（税込）、176 円（税込）など
suuryou	string	メニューの数量	1 貫、2 貫など
omochikaeri	string	そのメニューがお持ち帰りできるかの可否	お持ち帰り可など

2.1.3 ページ遷移

本 web アプリケーションがどのようにページ遷移をするかを表 3 に、それらを簡潔にまとめた図を図 1 に示す。本 web アプリケーションでは、まず `/menu` にてカテゴリー一覧を表示し、カテゴリー選択をすると指定されたメニュー一覧 `/menu/:url` にページ遷移する仕様となっている。また、本システムは追加、編集、削除の CRUD 操作にも対応しており、それらの操作を行うと、ユーザーが指定していたカテゴリーのメニュー一覧へとリダイレクト処理が行われる設計となっている。

表 3 はま寿司メニュー一覧のページ遷移

目的	リソース名	HTTP メソッド	遷移先
カテゴリ一覧	/menu	GET	hama.ejs
メニュー一覧	/menu/:url	GET	hama_menu.ejs
追加フォーム	/menu/:url/create	GET	/public/hama_menu_new.html
新規追加	/menu/:url/create	POST	/menu/:url (メニュー一覧に戻る)
詳細表示	/menu/:url/:number	GET	hama_menu_detail.ejs
編集	/menu/:url/edit/:number	GET	hama_menu_edit.ejs
更新	/menu/:url/update/:number	POST	/menu/:url (メニュー一覧に戻る)
削除	/menu/:url/delete/:number	GET	/menu/:url (メニュー一覧に戻る)

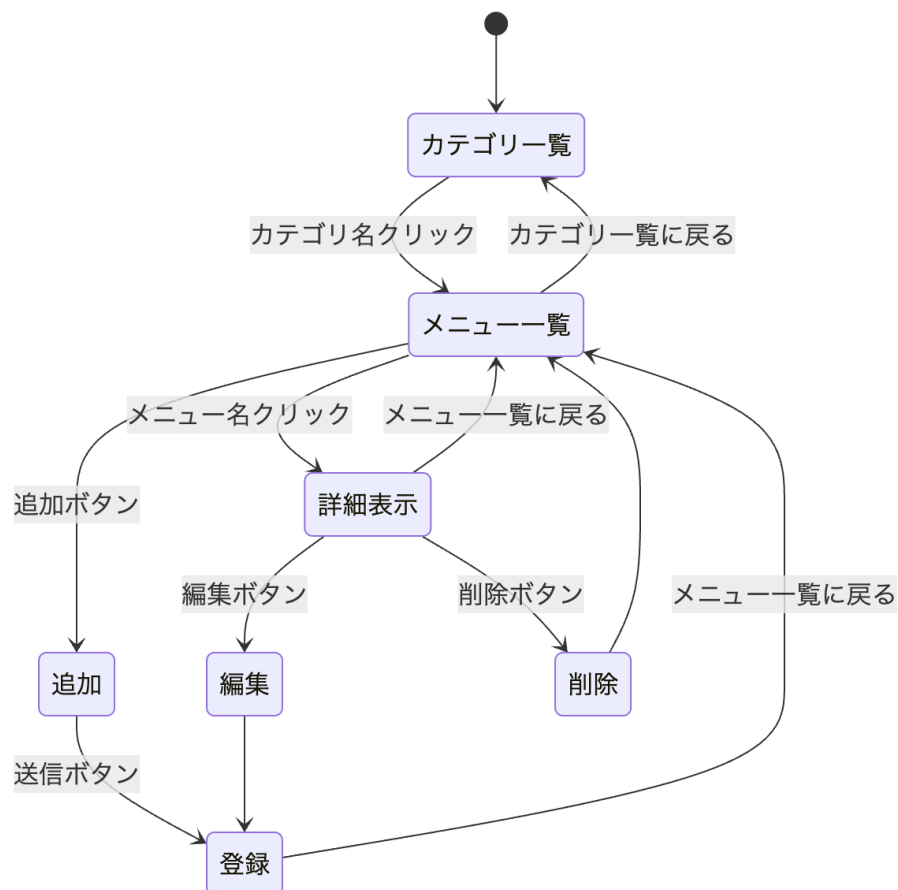


図 1 はま寿司メニュー一覧のページ遷移図

2.1.4 リソースごとの機能の詳細

第 2.1.3 節で作成した表を基に、リソースごとの機能の詳細について説明する。/menu のカテゴリを一覧表示するリソースでは、すべてのカテゴリ情報を持つ hama_menu を hama.ejs に渡し、ユーザーに見たいページの選択を提示する役割を持つ。ユーザーに選択されたカテゴリは、その後、メニュー一覧へと遷移する。/menu/:url のメニューを一覧表示するリソースでは、パスパラメータ url をキーとして利用し、連想配列である hama_all_menu から該当するカテゴリの配列を動的に抽出した後に、表示する役割を持っている。ユーザーが選んだメニューを押すと、詳細表示へと遷移する。/menu/:url/:number の詳細表示を行うリソースでは、:number を固有の ID として扱う。find メソッドを用いて、item.id == number により検索をかけることで、配列の順序に依存しないようなデータ抽出を行うことができる。/menu/:url/create の新規追加を行うリソースでは、res.sendFile を用いて、hama_new.html を読み込む。フォーム送信時には、既存の最終データの ID に 1 を加算する new_id を生成し、新しく作成したデータを配列の末尾に push により追加する役割を持っている。/menu/:url/edit/:number の編集を行うリソースでは、詳細表示でも利用した find メソッドで特定したオブジェクトの各要素を、編集画面で表示し編集する役割を持っている。/menu/:url/update/:number の更新を行うリソースでは、詳細表示や編集と同様 find メソッドで特定したオブジェクトの各要素を、フォームから送信されたデータで直接上書きする機能を持っている。/menu/:url/delete/:number の削除を行うリソースでは、:number によってパスパラメータで指定された ID と合致するデータを find メソッドにより特定した後、splice メソッドによって配列から削除する役割を持っている。また、誤って削除ボタンを押した際に onclick="return confirm()" を導入することで、誤って削除することを防ぐ利用者への配慮も行った。

2.2 2 つ目:tex 数学記号一覧

2.2.1 概要

本 web アプリケーションは、LaTeX で使用される数学記号を一覧表示するシステムである。閲覧するだけでなく、数学記号をブラウザ上で追加・編集・削除のできる機能を備えている。

2.2.2 データ構造

tex 数学記号一覧のデータ構造を表 4 に示す。項目名に示しているこれらのデータは、すべて tex_data に格納している。id は、number 型で定義しており、それ以外の要素は、文字列として出力するために、string 型で定義されている。特に、id の数値を活用して、詳細表示や編集、削除を行う際に特定のデータを識別するためのパスパラメータとして利用している。

表 4 tex 数学記号一覧のデータ構造

項目名	データ型	説明	出力例
id	number	数学記号に割り当てた ID	0,1,2 など
symbol	string	tex で出力される数学記号	=, ≠ など
name	string	数学記号の名称	等号, 不等号など
command	string	tex で使うコマンド	=, \neq など
genre	string	数学記号のジャンル	等号, 不等号, 演算子など
mean	string	数学記号の持つ意味	等しいことを示す, 等しくないことを示す, など

2.2.3 ページ遷移

本 web アプリケーションがどのようにページ遷移をするかを表 5 に, それらを簡潔にまとめた図を図 2 に示す. 本システムのトップページは, \tex で, 「一覧表示」の役割を担っている. CRUD の要素である追加, 編集, 削除を行うと, 遷移先としてトップページである \tex にリダイレクト処理によって戻るような設計となっている. この CRUD によって, ユーザーインターフェース向上につなげている.

表 5 tex 数式記号一覧のページ遷移

目的	リソース名	HTTP メソッド	遷移先
一覧表示	/tex	GET	tex.ejs
追加フォーム	/tex/create	GET	/public/tex_new.html
詳細表示	/tex/:number	GET	tex_detail.ejs
追加	/tex	POST	/tex (一覧表示に戻る)
編集	/tex/edit/:number	GET	tex_edit.ejs
更新	/tex/update/:number	POST	/tex (一覧表示に戻る)
削除	/tex/delete/:number	GET/POST	/tex (一覧表示に戻る)

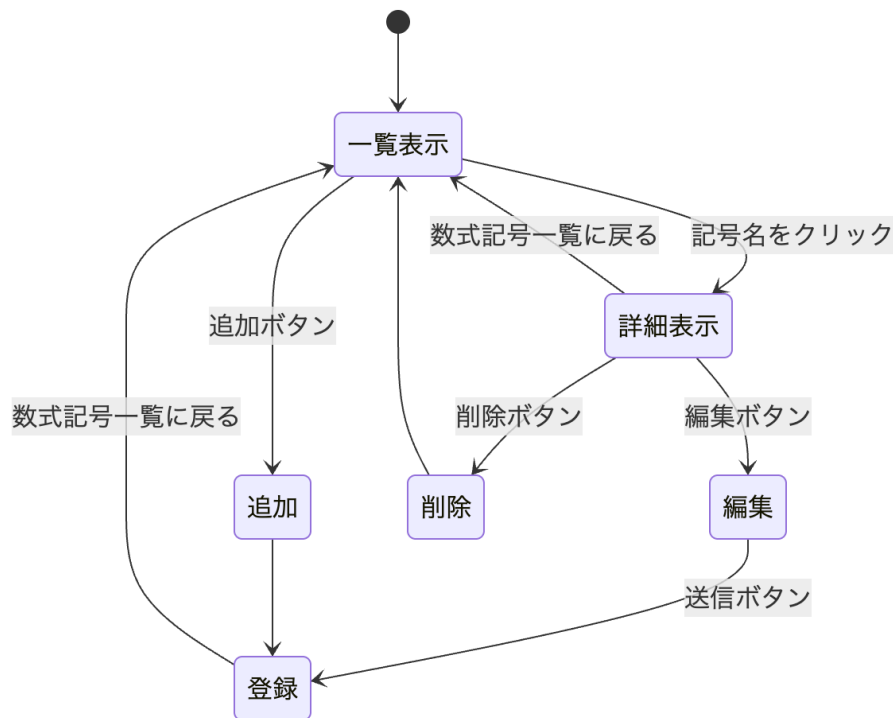


図 2 tex 数式記号一覧のページ遷移図

2.2.4 リソースごとの機能の詳細

第 2.2.3 節で作成した表を参考に、リソースごとの各機能について説明する。一覧表示することが目的である `/tex` のリソースでは、配列 `tex_data` の中に格納されているデータをすべて取得し、`tex.ejs` に渡して表形式で表示する役割を持っている。その `/tex` に表示されるデータは URL として `/tex/:number` の詳細表示のリンクへとべるようになっている。`/tex/:number` のリソースでは、URL から取得したパスパラメータ `:number` を配列の番号として割り当て、`tex_data[number]` によって特定のデータを抽出して `tex_detail.ejs` を使って表示する役割を持っている。`/tex/create` や `/tex` の追加処理を行うリソースでは、追加ボタンを押すと、`/tex/create` にアクセスし、`tex_new.html` にリダイレクトし、入力画面を表示する。フォーム送信時には、既存の最終データの ID に 1 を加算する `new_id` を生成し、新しく作成したデータを配列の末尾に `push` により追加する役割を持っている。`/tex/edit/:number` の編集を行うリソースでは、`tex_data[number]` から現在の値を読み込み、それを編集画面で表示する役割を持っている。`/tex/update/:number` の更新を行うリソースでは、送信されたデータで配列の該当する部分 `tex_data[number]` の各要素を直接上書きする機能を持っている。`/tex/delete/:number` の削除を行うリソースでは、パスパラメータで指定した場所を `splice` というコードの第 1 引数に渡し、配列から該当する要素を 1 件削除する。削除を行ったあとは、`tex` 数学記号一覧のページである `/tex` にリダイレクトする。また、誤って削除ボタンを押した際に `onclick="return confirm()"` を導入

することで、誤って削除することを防ぐ利用者への配慮も行った。

2.3 3つ目: 大乱闘スマッシュブラザーズファイター一覧

2.3.1 概要

本 web アプリケーションは、nintendo Switch 用ゲームソフト「大乱闘スマッシュブラザーズ」(以降、スマブラ)に登場するファイター(キャラクター)全員を一覧表示するシステムである。一覧表示だけでなく、ファイターの追加や編集、削除を行うことができる。

2.3.2 データ構造

スマブラファイター一覧のデータ構造を表 6 に示す。項目名として示しているデータは、すべて `sumabura_data` に格納している。第 2.2.2 節と同様に、`id` は、`number` 型で定義しており、それ以外の要素は、文字列として出力するために、`string` 型で定義している。特に、`id` の数値を活用して、詳細表示や編集、削除を行う際に特定のデータを識別するためのパスパラメータとして利用している。

表 6 スマブラファイター一覧のデータ構造

項目名	データ型	説明	出力例
<code>id</code>	<code>number</code>	各ファイターに割り当てた ID	0,1,2 など
<code>name</code>	<code>string</code>	ファイター名	マリオ, ドンキーコングなど
<code>series</code>	<code>string</code>	各ファイターが登場する作品	スーパーマリオ, ドンキーコングなど
<code>nannido</code>	<code>string</code>	プレイヤーの上位 5%である VIP に到達する難易度	★★★★☆など

2.3.3 ページ遷移

本 web アプリケーションがどのようにページ遷移をするかを表 7 に、そのページ遷移図を図 3 に示す。本システムのトップページは、`/sumabura` で、「一覧表示」の役割を担っている。第 2.2.3 節と同様に、CRUD の要素である追加、編集、削除を行うと、遷移先としてトップページである `/sumabuta` にリダイレクト処理によって戻るような設計となっている。この CRUD によって、ユーザーインターフェース向上につなげている。

表 7 スマブラファイター一覧のページ遷移

目的	リソース名	HTTP メソッド	遷移先
一覧表示	/sumabura	GET	sumabura.ejs
追加フォーム	/sumabura/create	GET	/public/sumabura_new.html
詳細表示	/sumabura/:number	GET	sumabura_detail.ejs
追加	/sumabura	POST	/sumabura (一覧表示に戻る)
編集	/sumabura/edit/:number	GET	sumabura_edit.ejs
更新	/sumabura/update/:number	POST	/sumabura (一覧表示に戻る)
削除	/sumabura/delete/:number	GET	/sumabura (一覧表示に戻る)

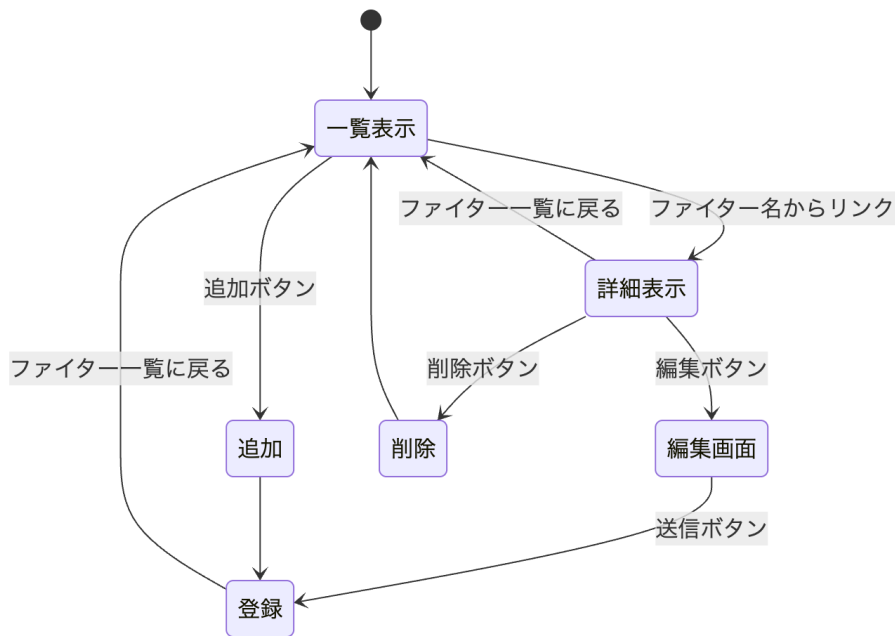


図 3 スマブラファイター一覧のページ遷移図

2.3.4 リソースごとの機能の詳細

第 2.3.3 節で作成した表を参考に、リソースごとの各機能について説明する。/sumabura の一覧表示するリソースでは、配列 sumabura_data に格納しているデータを sumabura.ejs に渡して表形式で表示する役割を持っている。その /sumabura に表示されるデータは URL として機能し、/sumabura/:number の詳細表示のリンクとしてとべるようになっている。/sumabura/:number の詳細表示を行うリソースでは、URL から取得したパスパラメータ: number を配列の番号として割り当て、sumabura_data[number] によって特定のデータを抽出して sumabura_detail.ejs にで表示する役割を持っている。/sumabura/create や /sumabura の追加の処理を行うリソースでは、追加ボタンを押すと、/sumabura/create にアクセスし、sumabura_new.html にリダイレクトす

ることで、入力画面を表示する。フォーム送信時には、既存の最終データの ID に 1 を加算する `new_id` を生成し、新しく作成したデータを配列の末尾に `push` により追加する役割を持っている。 `/sumabura/edit/:sumabura` の編集を行うリソースでは、 `sumabura_data[number]` から、現在の値を読み込み、それを編集画面で表示する役割を持っている。 `/sumabura/update/:number` の更新を行うリソースでは、送信されたデータで配列の該当する部分 `sumabura_data[number]` の各要素を直接上書きする機能を持っている。 `/sumabura/delete/:number` の削除を行うリソースでは、パスパラメータで指定した場所を `splice` というコードの第 1 引数に渡し、配列から該当する要素を 1 件削除する。削除を行ったあとは、ファイター一覧のページである `/sumabura` にリダイレクトする。また、誤って削除ボタンを押した際に `onclick="return confirm()` を導入することで、誤って削除することを防ぐ利用者への配慮も行った。

3 管理者向けマニュアル

3.1 インストール方法

本 web アプリケーションを利用するには、JavaScript 実行環境を整える必要がある。具体的には、`node.js` をダウンロードする必要がある。`node.js` は JavaScript で OS の機能にアクセスするプログラムを書くことができるため、導入が必須である。

そのような `node.js` をダウンロードするには、ターミナルを開き、ルートディレクトリで以下のコマンドを実行する。

```
1 nodebrew install stable
2 npm install -g npm
```

Listing 1 `node.js` のダウンロード方法

次に、`node.js` がダウンロードできているか確認するために、以下のコードを実行する。

```
1 node -v
```

このコードを実行したら、`v24.3.0` などのように表示されれば、`node.js` のダウンロードが完了し、実行環境の構築完了である。

3.2 起動方法

ターミナルを開き、対象ディレクトリ（ここでは `webpro_06`）まで移動し、以下のコードを実行することで Web サーバーを立ち上げることができる。

```
1 node app_kadai.js
```

Listing 2 Web サーバーの起動方法

起動に成功すると、ターミナル上に Example app listening on port 8080! というメッセージが出力される。

3.3 起動できない場合の対処法

起動ができない場合の主な原因は2つある。第一に、ポートを複数開いている可能性がある。具体的には、すでに他のプログラムが8080番ポートを使用している場合、起動に失敗する。このような場合は、使っていない方のプログラムのポートを終了させる必要がある。第二に、ディレクトリ指定を間違える原因である。これは、app_kadai.jsのあるディレクトリではない場所でソースコード2を実行してしまうことで起動できない場合がある。このような場合においては、lsコマンドで現在どの位置にいるかを確認し、正しいディレクトリへ移動することで解決することができる。

3.4 終了方法

サーバーを停止させるには、ソースコード2を実行中のターミナルで以下のコマンドを入力することで停止することができる。

```
1 Ctrl + C
```

Listing 3 Web サーバーの終了方法

3.5 わかっている不具合

わかっている不具合として、サーバーを終了すると、追加・編集・削除を行ったにも関わらず、初期化してしまう不具合がある。これは、データをサーバー実行時の変数内に格納していたためである。つまり、サーバーを停止したと同時にメモリ上の変数が削除されてしまうので、初期化されてしまう。このような不具合を解決するためには、外部データベースを活用することで解決することができる。

4 利用者向けマニュアル

4.1 概要

本webアプリケーションは、はま寿司の様々なメニューをカテゴリごとに閲覧し、必要に応じてメニューの追加や内容の修正、削除を行うことができる管理システムである。

4.2 基本的な操作の流れ

ユーザーは主に4つの操作を直感的に行うことができる。その4つの操作とは、閲覧、追加、編集、削除のことである。閲覧機能では、カテゴリを選び、メニューの詳細情報を確認することができる。追加機能では、新しいメニューをメニュー一覧に追加する。編集機能では、既存のメニュー名や価格、お持ち帰りの可否などの要素を編集する。削除機能では、提供終了したメニューなどを削除したい場合に用いる。

4.3 操作手順の詳細

4.3.1 システムの起動

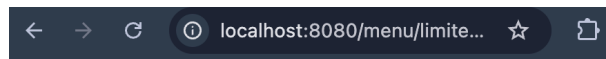
サーバーを管理している管理者がサーバーを起動したあと、利用者は、WebブラウザのURL欄に `https://localhost:8080/menu` と入力することで、システムを起動することができる。

4.3.2 データの閲覧方法

システムを起動すると、まず図4のようなカテゴリ一覧が表示される。その後、「期間限定」や「にぎり」などの見たい項目を選択すると、図5のようなメニュー一覧が表示される。さらに、特定のメニュー名をクリックすることで、図6のような価格やお持ち帰りの可否などの情報がのっている詳細画面を見ることができる。



図4 はま寿司のカテゴリ一覧



はま寿司：メニュー一覧

ID	メニュー
1	厳選まぐろ中とろ
2	炙り厳選まぐろ中とろゆず塩
3	大葉真いか握り
4	炙り豚たん
5	広島県産牡蠣のカキフライつつみ
6	広島県産牡蠣のカキフライつつみ（タルタルソース）
7	広島県産牡蠣のカキフライつつみ（お好みソース）
8	国産真ふぐ
9	国産真ふぐの天ぷら握り
10	白とり貝
11	サーモンネギ味噌焼き
12	旨だしたまごネギ味噌焼き
13	しめさばネギ味噌焼き
14	宮城県産とろいわしネギ味噌焼き
15	真鱈白子軍艦
16	あんきも軍艦
17	あんきもかにみそ軍艦
18	うに軍艦
19	うにいくら軍艦
20	中とろ三種盛り
21	車えび
22	地中海産本鮪大とろ
23	炙り地中海産本鮪大とろゆず塩
24	一本穴子

図 5 はま寿司のメニュー一覧

はま寿司厳選まぐろ中とろの詳細

項目	データ
ID	1
メニュー名	厳選まぐろ中とろ
価格	110円（税込）
数量	1貫
お持ち帰り	お持ち帰り可
編集 削除 メニュー一覧に戻る	

図6 はま寿司のメニュー詳細一覧

4.3.3 新しくデータを登録する方法

メニュー一覧の画面下部にある追加ボタンをクリックすると、図7のような入力画面が表示される。すべての項目を入力し、登録ボタンをクリックすることで新しいメニューが一覧に追加される。

<input type="text" value="まぐろ"/>	name:
<input type="text" value="110円（税込）"/>	price:
<input type="text" value="2貫"/>	suuryou:
<input type="text" value="お持ち帰り不可"/>	omochikaeri:
<input type="button" value="登録"/>	

図7 はま寿司のメニュー追加の方法

4.3.4 既存データの修正方法

メニューの詳細画面にある編集ボタンをクリックすると、図8のような編集画面が表示される。内容を書き換えたあとに、送信ボタンを押すことで内容が上書きされる。

厳選まぐる中とろの編集

項目	データ
ID	<input type="text" value="1"/>
メニュー名	<input type="text" value="厳選まぐる中とろ"/>
価格	<input type="text" value="110円（税込）"/>
数量	<input type="text" value="1貫"/>
お持ち帰り	<input type="text" value="お持ち帰り可"/>
<input type="button" value="送信"/>	
メニュー一覧に戻る	

図 8 はま寿司のメニュー編集の方法

4.3.5 データの削除方法

メニュー画面の詳細画面にある削除ボタンをクリックすると、図 9 のように確認のメッセージが表示される。OK を選択するとその対象のデータは削除される。

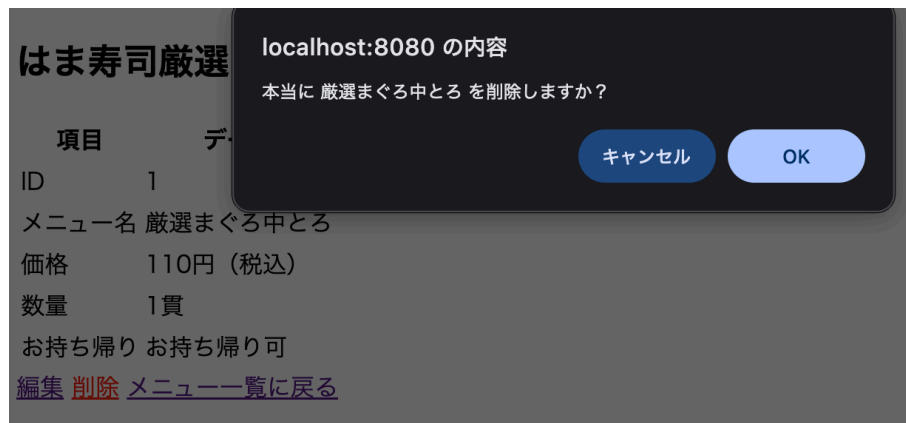


図 9 はま寿司のメニュー削除の方法